

# えんがわ

第33号

2009年12月発行

発行元  
衣笠病院グループ  
横須賀市小矢部  
2-23-1  
Tel 046-852-1182

## はちきん

子供の頃から私は「はちきん」と言われてきた。生まれ故郷である高知県では、男勝りの女性のことをそう呼ぶのである。その語源は諸説ある。私が親から聞いたのは、殿方が二つしか持つていない物をその四倍の八つ持つている程男っぽいというのである。褒め言葉なのか、けなし言葉なのかは？だが、一般的には元気が良くて気風がいいと愛着を込めて使われているのだ。



坂下 まるみ  
提供責任者

確かに私は子供の頃からお転婆で、木登り、めんこなど男の子とよく遊んだ。大人になってからも「はちきん魂」なるものは変わら

ず「姉御」などと呼んで私のことを慕ってくれる人も多い。

現在私は、訪問介護に携わっているが、今話題の「任侠ヘルパー」などでは決してないのでお間違いない！最近では「オトメン（乙女のような男子）」などという言葉が流行し、男女の境が曖昧になったりしているが、その元祖は案外「はちきん」なのではないか？

こんな「土佐のはちきんヘルパー」に会いに、一度、長瀬ケアセンターに足を運んでみませんか？

長瀬ケアセンター  
訪問介護事業所サービス  
提供責任者

## えんがわ在宅 ひんがくちわ 笑うことは 大切ですよ

一日一度は笑っていますか？ 私にとって笑うことは、パワーの源です。又、医学的にも笑うことによつて免疫力をアップすると言われます。テレビ番組を見ている時、人と話をした時など、どんな時でも良いと思います。自分にとっての笑いなので・・・。

私は、看護師になりたての若い頃、よく師長から「あなたの笑う声は、すぐ分かるわ」と少しいやみ様に言われたものでした。（注意マークのことですよね。ワツハツハツ）でも、患者様からは「あんたの笑いはいいよな、元気にしてくるよ」と言われ、幼い頃から苦手だった人と話すこ



とが、今はとても大好きです。笑い声が聞こえてくる所は、とても温かみがある環境であり「癒しの環境」とも言えます。具合の悪い方、そして介護をされ疲れが出ている方、少しでも笑い合うだけで身体と心を共に癒し、ほっとさせてくれることでしょう。「笑う門には福来る」と言うように、私は信じて毎日人と話をし癒されています。

衣笠病院 外来師長  
吉村佳奈美

花屋さんの店先をポインセチアが華やかに彩りはじめました。今年はいんフルエンザがメディアでも大きく取り沙汰されましたが皆様のご家庭は如何でしょうか。家の中の気温差も大きくなってきましたのでお気をつけて年末年始をお迎えください。